日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（令和元年度）

機関番号	３２６０４

所属研究機関名称		大妻女子大学
研究代表者	部局	文学部
	職	教授
	氏名	高木　元

１．研究種目名　基盤研究(C)(一般)　　２．課題番号　17K02460

３．研究課題名　十九世紀の絵入本における画文一体構成に着目した書物（メディア）史研究

４．補助事業期間　平成２９年度～令和２年度

５．研究実績の概要

今年度は仮名垣魯文の手掛けた資料を調査する機会が多かった。すでに知られている通り、魯文は多数の報状・引札を書いていたのであるから、残存資料の量が多いのも当然ではある。だが、一口に報状・引札といっても、比較的小さな文字だけの一枚刷（チラシ）から、本格的な大判浮世絵仕立てのモノまで千差万別である。

今回の研究計画で、当初問題にしたいと考えていたのは、画文一体になった〈填詞〉入りの浮世絵資料であった。しかし、今回の調査を通じて、文字だけの所謂チラシとの差異についても考察する必要があることに気が付いた。ただ、〈填詞〉入りの浮世絵仕立ての資料には、その発行に官許を得ることが不可欠なこともあり、具体的な改印や板元などの出板情報が判明することが多いが、文字だけのチラシの多くには、刊行年や印刷所や発行者の記載がなされていないことが多い。つまり、チラシの発行の母体として「地本問屋」を想定できるかどうかは確認する術が見出せず、その処理の仕方については、さらなる資料の発掘が必要だと気が付いた。今年度の調査を通じて得られた新たな問題意識の一つである。

もちろん、何事においても、具体的な調査を進めていかなければ、思いも拠らない想定外の資料に出合うこともない。其等の資料を見出さなければ、新たな疑問に遭遇できないことは当然の帰結である。地道に世界各地に散在している（従来は文学的価値を見出されていなかった）一次資料群の調査を継続することこそ、文系基礎学の存在意義だからである。

６．キーワード

浮世絵　填詞　地本問屋　仮名垣魯文　報状・引札

７．現在までの進捗状況

区分　（2）おおむね順調に進展している。

理由

研究計画を構想した当初から、調査には膨大な時間が不可欠であることが予想されたため、調査点数に関しては控えめに立案した。その三年目における計画の進捗状況としては、順調に進められているといえよう。

来年度も当初の計画にしたがって、地道に調査を継続していきたい。ただし、絵入本についても同時に調査することが多かったので、地本問屋の扱った商品としての浮世絵との差異についても考えてみたい。

【研究代表者・所属研究機関控】

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

１版

８．今後の研究の推進方策

以上の進捗状況から考えて、取り分け研究計画を変更しなければならない必然性は見出せなかった。来年度も当初の計画にしたがって、地道に調査を継続ししつつ、最終年度であるので、今回の計画で得られた成果の集約を進めていくことにしたい。

９．次年度使用が生じた理由と使用計画

今年度は年度末に計画していた海外調査が新型コロナ禍のために中止せざるを得なくなり、その残金の全てを執行することが出来なくて多少の繰越金が生じた。来年度になっても、何時渡航が可能になるか分からないので、もし前半期に海外渡航が困難な場合は、国内機関に調査先を変更する心づもりである。

１０．研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計3件（うち査読付論文　1件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　0件）

１．著者名 高木　元	４．巻 11
２．論文標題 明治期翻刻本の出版	５．発行年 2020年
３．雑誌名 読本研究新集	６．最初と最後の頁 119-136
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 高木　元	４．巻 51
２．論文標題 魯文の報条（四）	５．発行年 2020年
３．雑誌名 大妻国文	６．最初と最後の頁 97-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

1版

１．著者名 高木　元	４．巻 52
２．論文標題 『貞操婦女八賢誌』（四）－解題と翻刻－	５．発行年 2020年
３．雑誌名 大妻女子大学文学部紀要	６．最初と最後の頁 27-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

〔学会発表〕　計0件

〔図書〕　計0件

１１．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

１２．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

１３．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

－

１４．備考

大妻女子大学学術機関リポジトリ https://otsuma.repo.nii.ac.jp/
「ふみくら」https://fumikura.net
大学機関リポジトリと個人アーカイヴにて近日中に公開予定。